

## 2. 2022 年度の取り組み

### 2-1. 大学院博士前期課程副専攻 GRIP の開講準備

本 GRIP プログラムは、千葉大学の Global Education 大学院国際実践教育の該当科目として、開発・実施を行うものである。

#### 2-1-1. Global Education 大学院国際実践教育

千葉大学の Global Education (<https://global-education.chiba-u.jp/>) の一つである、「大学院国際実践教育」とは、「大学院国際実践教育は、将来グローバルに活躍できる高度な実践型人材を育成することを目的とした千葉大学の大学院グローバルプログラムで、海外協定校の学生との協働学習を中心とした大学院国際実践教育の指定科目を、主専攻である研究科・学府での修了要件単位以外で、所定の履修要件に基づき履修するもの」である (<https://global-education.chiba-u.jp/globalstudies/>)。

本 GRIP プログラムにおいては、2022 年度の申請時より、この大学院国際実践教育に該当するプログラムとして開発・実施することを想定し、千葉大学学務部国際企画課と調整を行ってきた。選定・採択後には、実質的な準備に着手し、2023 年度には下記の図 9 の通り、「大学院国際実践教育」の全 9 プログラムのうちの一つとなった。

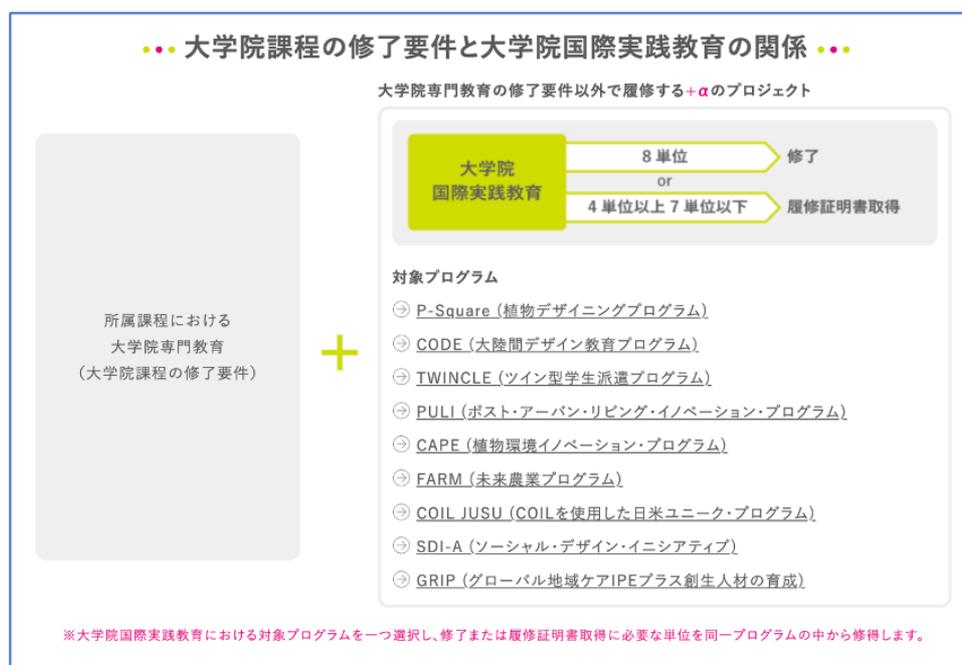


図 9 大学院課程の修了要件と大学院国際実践教育の関係 (千葉大学, 2023 年度)  
(千葉大学 Web サイトより, <https://global-education.chiba-u.jp/globalstudies/>)

上記の図9にも示した通り、「大学院国際実践教育」の学修については、「修了」と「履修証明書取得」の2通りがあり、本GRIPプログラムは「修了」のパターンとして設定する。つまり、図にもあるように、各大学院生が所属課程における大学院専門教育(大学院課程の修了要件)に加えて、GRIPの指定する7科目(8単位)を履修し単位認定されれば、大学院国際実践教育GRIP修了とする。なお、これら7科目については、すべてが自由科目であり、千葉大学の全学部・全研究科所属の学生が履修可能である。

## 2-1-2. 看護学研究科での開講準備

副専攻としての、大学院国際実践教育GRIP修了のための7科目開講は、2022年度に千葉大学大学院看護学研究科において承認され、同看護学研究科において2023年度の10月に開講する。これら7科目の概要は以下の通りである。

講義科目については、第4ターム(10、11月)であり、演習科目である「専門職間社会課題解決演習(Interprofessional Service Learning: ISL)」は、2022年度はターム5、6であり、オンラインでの事前学習開始は1月頃、現地渡航・演習は2月、事後のオンライン学習は3月実施としている。大学院国際実践教育GRIP修了認定のためのこれら7科目の履修順序は、特に規定しない。7科目計8単位が認定されれば、同修了認定となる。また、これらの科目は個別の履修も可能である。さらに、玄鼻IPEの科目を終えている学生については、専門職連携基礎、専門職連携実践1、専門職連携実践2については、既修得単位での読み替えも可能である。

表8 GRIP関連科目一覧

| 授業科目                                      | 単位数 | 形態 | 授業方法                | 授業科目の内容  |
|---|-----|----|---------------------|--|
| 専門職連携基礎                                   | 1   | 講義 | メディア授業<br>(非同期・双方向) | IPE(Interprofessional Education)の起源と理論的背景、必要性をSDGsの関連から論述し、基本的な理論から専門職連携実践活動を学ぶ。 |
| 専門職連携実践1                                  | 1   | 講義 | メディア授業<br>(非同期・双方向) | 専門職連携実践活動に必要な役割と責任、コミュニケーション、患者・利用者・住民との関係構築を学ぶ。                                 |
| 専門職連携実践2                                  | 1   | 講義 | メディア授業<br>(非同期・双方向) | 患者・利用者・住民へのサービス品質向上に向けた専門職連携実践のためのリーダーシップとメンバーシップと倫理的実践を学ぶ。                      |
| Cultural Competency and Cultural Humility | 1   | 講義 | メディア授業<br>(非同期・双方向) | 異なる伝統、教育システム、言語を持つ国同士のコミュニケーションを促進するインターカルチュラルな実践を学ぶ。                            |